

事 業 概 要

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

一般財団法人 尾崎行雄記念財団

1) 月刊『世界と議会』の刊行(No.579～581)

- ・2018年春号(特集:豎堂塾—学びと実践)…4月20日発行
- ・2018年夏号(特集:日本の課題と政治の未来)…8月20日発行
- ・2018年秋冬合併号(特集:尾崎行雄と憲政史)…10月20日発行

※計3500冊を発行。国会・地方議会議員、自治体、国会図書館・公立図書館、公共施設等へ配布。春号では、豎堂塾在塾もしくは出身の地方議会議員の取り組みについて、夏号では豎堂塾設立20周年記念講演(講師:勝谷誠彦氏／同年逝去)と仲本光一・外務省診療所長による講演、秋冬号では憲政史を支えた政治家や尾崎行雄に関する論文を掲載。

2) 「豎堂塾」の開催

助成:(公財)原田積善会 協賛:(株)ニフコ

基本プログラム:2018年5月～19年2月まで計16回講義終了(27名卒塾)

主な講師陣:神保哲生(ビデオジャーナリスト)、池田信夫(エコノミスト)、飯田哲也(ISEP所長)、伊勢崎賢治(東京外大教授)、北川政恭(早大院教授)、樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会理事長)、井沢満(脚本家)、小川和久氏(静岡県立大学特任教授)など。

※例年度同様オンライン講座を実施(PCでの講義視聴が可能)。特に、東北・熊本など被災地の塾生には、復興支援活動の一環として無料で講義を公開。なお、特別公開講座では、塾生以外に約15名が参加(豎堂塾のPRにも寄与)。

※19年2月、卒塾生「豎志会」主催「会設立10年の集い」が開催され、当財団役員が出席。

3) 講演会／政経懇話会／出張講演

隔月で開催している講演会(グローバルイッシューズ(GII)総合研究所と共催)では、防災・危機管理・テロ問題、トランプ政権等をテーマに、5月に久保信保・元消防庁長官、7月に大庭誠司・あいおいニッセイ同和損保顧問、9月に吉川圭一・GII所長、11月にケントギルバート・カリフォルニア州弁護士、1月・3月にはGII関連出版講演会を開催。

政経懇話会では、仲本光一・外務省診療所長による講演「海外邦人への医療支援について」を実施。

また、4月に「豎堂塾設立20周年記念講演会」を開催。講師は勝谷誠彦氏。テーマは「これからの『政治』の話をしよう」。内容は『世界と議会』夏号掲載。(勝谷氏は同年11月逝去) その他、尾崎行雄と選挙をテーマに出張講演7回(三重、神奈川、東京)実施。

4) 記念事業「相馬雪香没後10年の集い」(協賛:大橋物産株式会社／ミクニ総業株式会社)

7月に開催。相馬が設立したNPO法人難民を助ける会理事長の長有紀枝氏、相馬が最高顧問を務めていたNPO法人一冊の会会長の大槻明子氏などによる講演、関係者による交流会を開催。(当日は約120名が参加)

5) 記念事業「尾崎行雄生誕160周年の集い」(協賛:同上)

10月に開催。当財団会長の大島理森衆議院議長、理事長の高村正彦元外務大臣による挨拶、伊勢のNPO法人豎堂香風理事長・土井孝子氏による講演を実施。祝電・メッセージも多数寄せられ、当日はその中から、安倍晋三内閣総理大臣、枝野幸男衆議院議員(立憲民主党代表)、鈴木健一伊勢市長のメッセージを披露(当日は約130名が参加)。

6)被災地支援

上記事業(4)(5)へのご寄付と参加費、また各種活動の収益の一部を関連NPOを通じて被災地支援(物資・文具等の寄贈／植樹活動)に充当。

7)ホームページによる広報活動の強化

2013年よりIT専門の部署を設け、専門家による効果的なホームページ運営を実施。さらに、フェイスブック等のSNSを通じて積極的に情報を発信。現在も全国から多数のアクセス(閲覧)があり、当財団イベントをはじめ、尾崎行雄や相馬雪香の関連情報を多くの方々にご覧頂いている。

8)資料の収集／衆議院憲政記念館に対する協力／他団体との連携・協力

尾崎行雄関連資料の収集および記念館を通じての一般公開を実施。また、記念館参観者への展示説明(尾崎行雄関連)を実施。講演事業や記念事業、被災地支援等で関連団体との連携・協力(共催・後援等)を実施。

9)会議の開催

定款に則り、2018年5月に評議員会、2019年3月に理事会を開催。

以上